



「LGBTと生きる 虹色の社会」

福崎東中学校2年(当時)
上杉このみ

みなさんは、「LGBT」という言葉を知っていますか。テレビなどで聞いたことはあるけれど、あまりよく知らないという人も多いのではないのでしょうか。LGBTとは、レズビアン(女性同性愛者)、ゲイ(男性同性愛者)、バイセクシャル(両性愛者)、トランスジェンダー(性別越境者)の頭文字を取った言葉です。体と心の性別が一致しない人など、自分の性別に違和感を覚える人がLGBTにあてはまります。

今、日本でのLGBTの人の割合は、左利きの人や血液型がAB型の人の割合とほぼ同じであるとされています。このように考えてみると、LGBTの人の数は意外と多いことが分かりますが、ほとんどの人が社会での生きづらさを感じたり、悩

みを抱えたりしているそうです。私がこの作文を書くきっかけになったのは、テレビで性別についてのある衝撃的なニュースを見た事でした。それは、心は女性、体は男性だったAさんという人が経験したいじめの話でした。AさんはLGBTのT、トランスジェンダーにあてはまりません。長年、自分の性別に不自由さを感じ、決死の覚悟で体を女性に変える手術を受けました。しかし、職場での性別は「女性」と公表しているのに、上司や会社の人からは「元男性」という扱いを受け、いじめられたといえます。「本当に女なのか怪しい」「気持ち悪い」などと悪口を言われ、他の人と同じように仕事を与えてもらえなかったそうです。私はこのニュースを見た時、もし自分がAさんのような立場だったらどんな気持ちになるだろうと思いました。「どうして過去のことではないじめられなきゃいけないのだろう。」と腹が立つのと同時に、「性別が違うということはおかしいことなのかな。」と悲しくなります。また、そのニュースでは「LGBTの人が職場にいたらどう思うか」というアンケートの回答も紹介されていました。「他の人と同じように接する」などの肯定的な意見もある一方、「同じ空間にいるだけで寒気がする」といった否定

的な意見もありました。中には、「どう接したらいいかわからない」という戸惑いと不安の声もありました。私はこれらの回答から、LGBTの人が生きづらさを感じているのは、周りの人々や社会全体がLGBTについて十分に理解されていないから、性別は男性か女性のことばかりかしかない」というイメージが強く根付いていたりするからではないのかと思いました。LGBTの人に対して、多くの人は「特殊な人」「他とは異なる性質の人」という印象があるのかもしれないです。しかし、「性はグラデーション」という言葉があるように、男性なのか女性なのか、それともどちらでもないのかということはとても分かりにくいことだと思います。新しい言葉で、「LGBTQ」という言葉があります。このQというのは、クエスチョニングという言葉の頭文字で、自分の性別を決めない人のことをいいます。そんな人たちにとって、性別をきっぱりと分けて生活しなければならぬのはとても苦しく、生きづらいことではないかと思えます。

私には、「LGBTQだから就職ができなかった」「LGBTQだから社会保障を受けられなくなった」といった差別的な考えは、社会から取り除くべきだと思います。LGBTQの人でも芸能界で活躍したり、世界中の人々の生活を支える仕事をしていたりする人はたくさんいます。LGBTQであることは特別なことではないし、今ではあって当たり前のことだと思います。ところで、LGBTQの人であっても自分らしく生きていくために、私たちができることは何でしょうか。まずは、差別意識やLGBTQの人を傷つけるような言葉や行為などの人権侵害をなくすことだと思います。とても小さな一歩ですが、それがたくさんの人たちに広がっていくことで、LGBTQの人やその家族が安心して暮らせる大きな夢となるのではないのでしょうか。そして、LGBTQの人が自分の性別にコンプレックスを抱かなくなれば、より多くの人が自分らしく自由に生きる社会になっていくと思います。もし、あなたの周りに自分の性別について悩んでいる人がいたら、それを受け止めてゆっくりと話を聞いてあげてください。自分の気持ちに寄り添ってくれる人が近くに一人でもいれば、きっとLGBTQの人も心強いと思います。相手を思いやる気持ちがあれば、LGBTQの人とも良好な



福崎小学校4年(当時)
若畑有姫

人権標語

人間関係を築いていけると思えます。

LGBTQの人もそうでない人も、それぞれが自分らしい色に輝き、それらが重ね合わさって大きな虹になる。そんな多様な個性が認め合える世界になればいいなと思います。

大丈夫 たよっていいよ
仲間だよ

福崎小学校5年(当時) 小國香葉

みんながね 笑顔になるよ
「ありがとう。」

田原小学校6年(当時) 牛尾心音

なかまはずれ
それってほんとに
楽しいの？

八千種小学校3年(当時) 藤本菜摘

心のドア 開くのは人
思いやり

福崎西中学校3年(当時) 高橋千穂

生活科学 センター だより

不用品買い取りのはずが
貴金属を買い取られた！

〔相談〕

突然、自宅に孫ぐらいの若者がやってきて「壊れた物でも大丈夫。何か買い取らせて買い取らないと上司に怒られる」と話した。気の毒に思い、玄関を開け話を聞いた。そこへ上司と名乗る年配の男性が現れ「貴金属を見せて欲しい」と話したし、断るのが怖くて言われるがまま貴金属を見せた。

結局、買い取ったのは金のネックレスやダイヤの指輪だった。契約時は、最近身に着けていないし、売っても良いと思いい金を受け取ったが、後でよく考えてみると、高額で購入した貴金属がほんのわずかな代金で買い取られて不満。やっぱり返却して欲しい。
(80歳代女性)

ハイ！
神崎郡消費生活
中核センター
相談員です



〔処理〕

今回の契約は訪問購入に該当するため、クーリング・オフが可能です。はがきの書き方を伝え、簡易書留など記録の残る方法で送るよう助言しました。また、センターから業者に連絡をし、相談者の意向を伝えたところ、買取業者は品物の返還に応じ、相談者は受け取った代金を返金しました。

〔アドバイス〕

「訪問購入」とは、事業者が消費者の自宅等を訪問して物品の購入を行う取引のことです。「電話勧誘」「訪問販売」と同様に特定商取引法の規制対象で、契約書を交付されてから8日間はクーリング・オフの制度があります。



田原小学校5年(当時)
美野詩織



福岡東中学校1年(当時)
山本奈々



福岡西中学校2年(当時)
仲本瑞生

その他の相談事例

○玄関で座り込み、断ってもしつこく買取りをするまで帰らない

○「いらぬ着物を買う」と電話がかかってきたが、実際は「指輪を売ってくれ」と言われた

○売った物を返してほしいが買取業者が分からない

○契約書に「一式」とだけ書かれ、買取品の詳細が分からない

○返却を求めたら「もう溶かした」、「すでに転売してしまった」と言われた

「できない」「キャンセル料がいる」といわれた

訪問購入での注意点

○業者に一度渡ってしまった品物は、簡単には取り返せません。買い取ってもらったつもりがないならきっぱり断りましょう。

○契約前に、業者の会社名・住所・電話番号を確認し、古物商許可証等の提示を求めましょう。納得して売る場合でも、契約内容が書かれた書面を必ずもらいましょう。

○契約してしまった場合でも、クーリング・オフ期間中(8日間)は物品の引渡しを拒

み手元に置くことができません。すぐに引き渡さず、よく考える時間を作りましょう。

消費生活の相談や問い合わせ、苦情は、神崎郡消費生活中核センターへ
(☎22・4977)

秘密厳守 相談は無料
相談日時 火～金曜日
9時～16時
(月曜日は休館日)

令和3年度予算のありまし

令和3年度予算は、一般会計82億6300万円（前年度比0・2%減）
総額171億3000万円（前年比7・6%増）で可決されました。

町長提案説明の抜粋

令和3年度予算は、第5次総合計画の実現と福崎町総合戦略の取組みを進めるとともに、行政改革の不断の取組みにより、人口減少・少子高齢社会であっても「創意と工夫で輝くまち」を築いていくための予算となるよう編成しています。

一般会計の予算総額は、82億6300万円で、対前年度比0・2%の減、特別会計を合わせた総額は、対前年度比7・6%増の171億3000万円を計上しております。各課が取り組む主な事業は次のとおりです。

【総務課】

町制施行65周年を迎え、5月3日には記念式典、8月29日には夏期巡回ラジオ体操を行います。

任期満了に伴う、福崎町議会議員選挙を執行します。また、兵庫県知事選挙、衆議院議員総選挙が実施されます。友好都市岩手県遠野市との交流事業については、継続し

友好の絆を深めていきます。

【企画財政課】

健全な財政運営について、各種事業を進める一方で、中長期的な見通しを念頭に置きながら、第6次行政改革実施計画に沿って改革に取り組みます。

【税務課】

コンビニエンスストアでの納付や、スマホアプリを使った決済を導入し、納税者への利便性向上を図ります。

【地域振興課】

自立（律）のまちづくり交付金事業を引き続き実施し、地域の自立に向けた集落活動を支援していきます。

観光振興では、駅前・辻川観光交流センターの賑わいづくりに努めます。妖怪ベンチの増設や観光アプリを活用した誘客、周遊観光の促進を図ります。また、増加する観光客に対応するため、新たな駐車場を整備します。

【住民生活課】

マイナンバーカードの取得促進を図るため、引き続き写真撮影の無料サービスや休日

受付窓口の開設を行います。

防犯灯、凍結防止ミラー、通学路にグリーンベルトを設置するなど、児童生徒の通学の安全確保に努めます。

ごみ処理については、くさかクリーンセンターでは、廃炉に向け、中継施設整備工事を実施します。神崎郡ごみ処理施設については、施設整備基本計画の策定、測量・地質調査、生活環境影響調査等を実施します。

防災対策では、防災資機材の充実や自主防災組織の育成強化に努めます。

【健康福祉課】

「コミュニティバス事業は、新たに加西市方面への運行を火曜日、木曜日の週2回実施します。

妊婦が陣痛や体調不良などにより受診が必要となった際に利用できる「マタニティータクシー事業」を実施します。

住民の健康寿命の延伸を図るため、40歳以上対象の保健事業と65歳以上の介護予防事業を一体的に実施します。

【農林振興課】

「人・農地プラン」の策定をさらに推進します。福崎町特産のもち麦について、もち麦産地振興協議会が大学との連携などを通して、もち麦の健康機能性を活かしたブランド戦略を進めます。

高岡・福田地区の県営ほ場整備事業について、更なる推進を図ります。

ため池整備事業では、引き続き三谷池の本体工事を進めます。

【まちづくり課】
福崎駅田原線の延伸並びに千束新町線改良事業に着手します。

直谷川や大内川などの堆積土砂の浚渫などを実施します。JR西日本が実施する、福崎駅のバリアフリー化事業に対し、補助を行います。

特定空き家に対し指導・助言・勧告等を行います。

【学校教育課】
福崎小学校北校舎の長寿命化改良工事を継続して行います。

小・中学校のトイレの改修について、実施設計を行っています。

「GIGAスクール構想」で整備した校内のWiFi環境と児童生徒1人1台端末を使い、学習支援ソフトを有効に活用しながら新しい時代

の学校教育を推進します。中学校3年生を対象に英語検定の受検者に補助金を支給します。

【社会教育課】
柳田國男・松岡家記念館では、松岡映丘生誕140年に向け、2回の画稿展を開催します。

大庄屋三木家住宅では、令和2年度に整備した展示兼収蔵施設において、貴重な資料の公開・活用に取り組みます。

エルデホールでは、メインホール・イベントホールの照明設備の更新を行います。

【上下水道課】
水道事業では、老朽化した西谷地区の配水管更新工事、工業団地配水池と加圧ポンプ所の監視制御装置更新工事を実施します。

下水道事業では、川すそ雨水幹線及び直谷第2雨水幹線工事を進めて行きます。

工業団地造成事業では、東部工業団地造成工事完了後、用地売却を行い、企業立地による産業の活性化を図ります。

総額 171億3000万円

一般会計 82億6300万円



●令和3年度一般会計及び特別会計予算総額●

(単位：千円、%)

会計名	予算額		比較	
	令和3年度	令和2年度	金額	前年比
一般会計	8,263,000	8,280,000	△17,000	△0.2
国民健康保険事業特別会計	1,985,700	1,927,100	58,600	3.0
後期高齢者医療事業特別会計	290,300	276,200	14,100	5.1
介護保険事業特別会計	1,733,200	1,706,800	26,400	1.5
水道事業会計	552,100	933,500	△381,400	△40.9
工業用水道事業会計	53,900	49,100	4,800	9.8
下水道事業会計	2,428,900	2,190,500	238,400	10.9
工業団地造成事業会計	1,822,900	552,400	1,270,500	230.0
合計	17,130,000	15,915,600	1,214,400	7.6

●令和3年度一般会計歳入内訳及び比較表●

(単位：千円、%)

科目	予算額		前年比	構成比	
	令和3年度	令和2年度		令和3年度	令和2年度
①町税	3,069,900	3,292,400	△6.8	37.2	39.8
②地方譲与税	74,429	80,200	△7.2	0.9	1.0
③利子割交付金	2,500	2,200	13.6	0.0	0.0
④配当割交付金	15,000	15,000	0.0	0.2	0.2
⑤株式等譲渡所得割交付金	15,000	9,200	63.0	0.2	0.1
⑥法人事業税交付金	50,000	35,000	42.9	0.6	0.4
⑦地方消費税交付金	472,000	474,000	△0.4	5.7	5.7
⑧ゴルフ場利用税交付金	14,000	17,000	△17.6	0.2	0.2
⑨環境性能割交付金	10,800	14,500	△25.5	0.1	0.2
⑩地方特例交付金	88,200	21,700	306.5	1.1	0.3
⑪地方交付税	1,300,000	1,240,000	4.8	15.7	15.0
⑫交通安全対策特別交付金	3,000	3,000	0.0	0.0	0.0
⑬分担金及び負担金	182,549	182,780	△0.1	2.2	2.2
⑭使用料及び手数料	75,529	75,384	0.2	0.9	0.9
⑮国庫支出金	680,214	711,527	△4.4	8.2	8.6
⑯県支出金	576,532	530,169	8.7	7.0	6.4
⑰財産収入	7,700	5,503	39.9	0.1	0.1
⑱寄附金	100,101	52,101	92.1	1.2	0.6
⑲繰入金	421,451	295,481	42.6	5.1	3.6
⑳繰越金	60,000	60,000	0.0	0.7	0.7
㉑諸収入	329,195	325,855	1.0	4.0	3.9
㉒町債	714,900	837,000	△14.6	8.7	10.1
歳入合計	8,263,000	8,280,000	△0.2	100.0	100.0

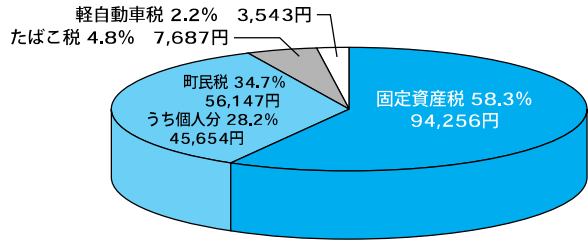
●令和3年度一般会計歳出目的別内訳及び比較表●

(単位：千円、%)

科目	予算額		前年比	構成比	
	令和3年度	令和2年度		令和3年度	令和2年度
①議会費	119,271	135,414	△11.9	1.4	1.6
②総務費	879,734	782,068	12.5	10.7	9.5
③民生費	2,683,280	2,579,719	4.0	32.5	31.2
④衛生費	598,518	524,532	14.1	7.3	6.3
⑤農林水産業費	445,087	406,642	9.5	5.4	4.9
⑥商工費	260,126	266,055	△2.2	3.1	3.2
⑦土木費	836,386	859,954	△2.7	10.1	10.4
⑧消防費	350,281	432,370	△19.0	4.2	5.2
⑨教育費	1,038,117	1,317,176	△21.2	12.6	15.9
⑩公債費	1,050,200	974,070	7.8	12.7	11.8
⑪予備費	2,000	2,000	0.0	0.0	0.0
歳出合計	8,263,000	8,280,000	△0.2	100.0	100.0

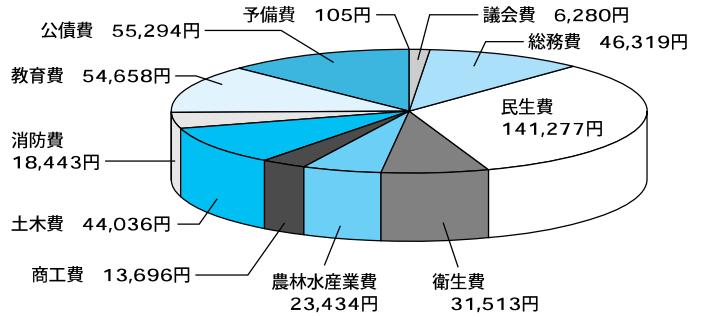
●私たちが負担する税(1人当たり)

※2月28日現在の人口18,993人で161,633円



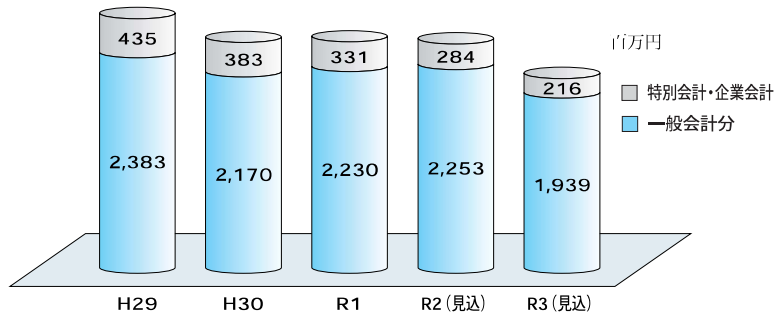
●私たちに使われる町のお金(1人当たり)

※2月28日現在の人口18,993人で435,055円



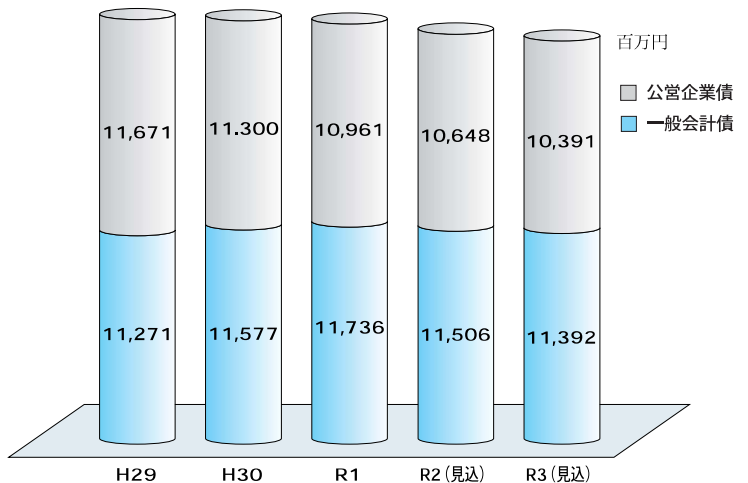
●基金積立金現在高●

令和3年度末残高見込
 一般会計 19億3,900万円 (1人当たり約102,000円)
 特別会計・企業会計 2億1,600万円 (1人当たり約11,000円)
 合計 21億5,500万円 (1人当たり約113,000円)



●地方債現在高●

令和3年度末残高見込
 一般会計 113億9,200万円 (1人当たり約600,000円)
 公営企業会計 103億9,100万円 (1人当たり約547,000円)
 合計 217億8,300万円 (1人当たり約1,147,000円)



令和3年度に取り組む 新型コロナウイルス感染症対策事業

3月議会で、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策や、みなさんの生活と地域経済を支えるための経費を盛り込んだ、令和2年度の補正予算と、令和3年度予算が成立しました。

ワクチン接種を最重点事業として取り組むとともに、避難所や学校・こども園での感染症対策、子育て世帯の生活支援などを実施します。具体的な事業は下記のとおりです。

新生児世帯応援給付金給付事業【継続】	令和2年度実施事業の継続事業として、令和3年度に生まれた子一人あたり10万円給付	1500万円
飲食店等持続応援事業	令和2年4月から令和3年3月までのいずれか一月の売上が前年同月比で20%以上減少している飲食店等事業者に、一律20万円を支給	1830万円
プレミアム付商品券事業【令和3年度】	1万2千円分の商品券を1万円で販売（総額1億2000万円発行）	1600万円
新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金事業【従来分】	県の要請で時短営業に協力した飲食店等の店舗に対し、協力金を支給（6万円/日） 町負担：6万円×地方負担20%×町負担1/3×25日間（1/14～2/7）	730万円
新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金事業【延長分】	県の要請で時短営業に協力した飲食店等の店舗に対し、協力金を支給（6万円/日・4万円/日） 町負担：6万円×地方負担20%×町負担1/3×21日間（2/8～2/28） 町負担：4万円×地方負担20%×町負担1/3×7日間（3/1～3/7）	820万円
新型コロナウイルス感染症対応物資購入事業（その2）	避難所用感染症対策備品の購入（間仕切り 50台、段ボールベッド 50台）	100万円
学校教育活動継続支援事業	学校における感染症対策の強化に要する衛生資材費等の整備および教職員の研修機会の確保 ※総事業費の1/2は国庫補助	600万円
認定こども園感染症拡大予防対策事業	認定こども園における感染症対策の強化に要する衛生資材等の整備 ※総事業費の1/2は国庫補助	190万円
窓口対話支援システム設置事業	窓口アクリル板やマスク着用の影響による「声の間こえにくさ」を改善するため、コミュニケーション（専用スピーカー）を設置	58万円
地域公共交通新型コロナウイルス対応型運行支援事業	車内等の密度を上げないように便数等に配慮した運行に取り組む地域公共交通事業者への支援 ※負担割合 町1/4	9.2万円
新型コロナウイルスワクチン接種事業	対象者16,450人へのワクチン接種（16歳以上の者、医療従事者、高齢者施設従事者）	1億460万円

これらのほかにも、新型コロナウイルスの感染状況を見極め、随時、状況に応じた対策を行います。また、国や県と協調して行う支援策など、新たな支援策が決まり次第お知らせします。

新型コロナウイルスワクチン接種 に向け準備を進めています

新型コロナウイルスワクチン接種は、現在、医療従事者等への先行接種が行われています。

福崎町には、4月末に最初のワクチンが配送され、5月初旬から高齢者への接種を始める予定です。接種方法は、保健センター、エルデホールでの「集団接種」または、医療機関での「個別接種」などから選択することができます。

接種順位	対象者
1	医療従事者等
2	高齢者（昭和32年4月1日以前生）
	①高齢者施設等の入所者（一部従事者含む） ②意向確認票到着順
3	基礎疾患を有する人
4	上記以外の人

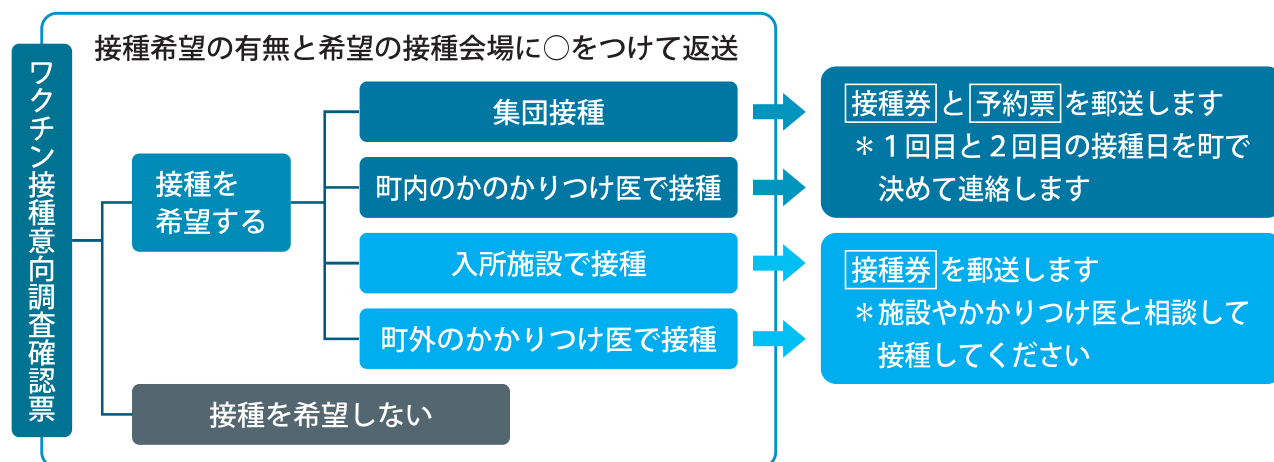
*福崎町では、重症化やクラスター発生のリスクを考慮して、高齢者施設等の入所者を優先で接種します。

*ワクチンの余剰を防ぐため、施設従事者の一部も同時に接種します。

接種の流れ

◆順位2. 高齢者・・・予防接種の意向確認を行います

65歳以上の方にワクチン接種意向確認票を郵送しています。接種を希望される方もされない方も必ず返送してください。



◆順位3. 基礎疾患を有する人、4. 上記以外の人・・・開始時期・予約方法は未定

接種の同意

ワクチン接種は強制ではありません。感染予防効果と副反応のリスクの双方について理解したうえで、自らの意思で接種してください。

コールセンター及び相談窓口

◆ワクチン接種の受け方、予約について

福崎町新型コロナワクチンコールセンター ☎23-0567 (月～金 8:30～17:15)

◆ワクチン接種に関する一般的な問い合わせ

保健センター ☎22-0560 (内線360～363) (月～土 8:30～17:15)

◆医学的な内容など専門的な相談

兵庫県新型コロナワクチン専門相談 ☎078-361-1779 (毎日 9:00～17:30) / Fax078-361-1814

◆ワクチンの有効性や安全性について

厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター ☎0120-761770 (毎日 9:00～21:00)